

平成 16 年 6 月 14 日
国立情報学研究所

学術機関リポジトリ構築ソフトウェア実装実験プロジェクトについて

1. 経緯

- 平成 14 年 3 月 学術情報の流通基盤の充実について（審議のまとめ）
（科学技術・学術審議会研究計画・評価分科会 情報科学技術委員会
デジタル研究情報基盤ワーキング・グループ）
- 2. 学術情報の流通基盤に関する基本的方策
(2) 大学等からの学術情報発信機能の整備
これまで、大学等からの情報発信は、電子図書館的機能の整備、大学等のホームページの活用、研究者個人による取組などにより行われてきたが、大学等が生産する学術情報を国民に直接還元するために、今後は、体系的な情報発信のための体制作りが必要である。
- 平成 14 年 10 月 NII メタデータ・データベース共同構築事業 開始
- 平成 15 年 5 月 電子図書館の新たな潮流 - 情報発信者と利用者を結ぶ付加価値インターフェイス - （国立大学図書館協議会図書館高度情報化特別委員会ワーキンググループ）
- 3. 1 新電子図書館システムを構成する機能
(1) 学術機関リポジトリによる学内学術情報の発信強化
(中略)
 - ・日本においても、大学の情報発信機能を向上させるためには、大学図書館が中心となって学術機関リポジトリの実装を進めなければならない。
 - ・大学で生産される電子的学術情報の発信システムを効率的かつ効果的に構築するには、NII のメタデータ・データベースと各大学の学術機関リポジトリを系統的に連携させることが必要である。
 - ・そのためには、いくつかの大学図書館と NII による先導的な共同プロジェクトを発足させるべきである。
- 平成 15 年 7 月 メタデータ・データベース共同構築事業の今後の展開（図書館情報委員会）
- 1. NII-IRP (NII Institutional Repository Portal)
～学術機関リポジトリ・ポータル構築
・イニシアチブ的活動
各機関の自発性・自主性を尊重しつつ、学術機関リポジトリの構築推進を支援。多様な機関（機関リポジトリの有無、デジタルコンテンツの有無）を許容。
 - 2. NII-USG (NII Union Subject Gateway)
～総合サブジェクト・ゲートウェイ構築
・参加大学図書館による主題リンク集の協同構築
- 平成 15 年 12 月 平成 15 年度第 3 回メタデータ・データベース検討会
- 今後の進め方
- ・プロジェクト形式でやると、大学からも参加しやすい。その場合大学側に機関として意志決定が必要。ワークショップ形式の方が小回りがきく。
 - ・しかし、少なくとも 1 年程度の継続性が必要である。ワークショップからはじめて、プロジェクトへと発展させてはどうか。
 - ・論点は出揃ってきたので、来年度には 1 週間程度、人員を集めて集中的に検討し、報告書を出せるレベルまで持っていきたい。

2. 概要と目的

国内における学術機関リポジトリ構築先行事例の研究と構築ソフトウェアの稼働実験を通じて、その構築と運用に関するノウハウを蓄積する。これを学術機関リポジトリ導入引書としてまとめ、知識の共有化を図ることにより、国内各大学での円滑な学術機関リポジトリ構築・運用の一助とする。

3. スケジュール

第一期(6月～8月)	NII-IRP ワークショップ(6月14日～19日：東京・軽井沢) 参加機関学内合意形成推進 参加機関における稼働，試行運用開始
第二期(9月～11月)	実務担当者打合せ(9月予定：東京) 参加機関 NII 間のメタデータ・ハーベスティング実験
第三期(12月～3月)	実務担当者打合せ(12月予定：東京) 得られた成果の集約，ドキュメント作成(分担執筆)，刊行

4. 課題

- ・ 学術機関リポジトリ構築ソフトウェア (DSpace / EPrints)
 - 導入手順
 - 運用手順
 - NII メタデータ記述要素への対応
 - 日本語対応
- ・ 運用上の諸課題
 - システム構築
 - 運用体制，学内合意形成
 - コンテンツ収集，教員への働きかけ
 - 著作権処理
 - 学内の同種事業との連携
 - メタデータ

学術機関リポジトリ構築ソフトウェア実装実験プロジェクト 名簿

機関名	担当者	所属
北海道大学	金子敏*	附属図書館情報システム課システム管理係長
	鈴木雅子	附属図書館情報システム課システム管理係
千葉大学	加藤晃一*	附属図書館情報管理課雑誌・電子情報係長
	阿藤品治夫	附属図書館情報管理課雑誌・電子情報係
東京大学	本多玄*	情報基盤センターデジタル・ライブラリ係長
	小山憲司	情報基盤センターデジタル・ライブラリ係
東京学芸大学	綾部輝幸*	学術情報部情報管理課電子情報係長
	山崎みどり	学術情報部情報管理課電子情報係
名古屋大学	郡司久*	附属図書館情報システム課長
	山本哲也	情報連携基盤センター学術電子情報掛
九州大学	瓜生照久*	情報基盤センター電子図書館掛長
	小野真由美	附属図書館情報システム課電子情報掛
国立情報学研究所	大場高志	開発・事業部コンテンツ課長
	山西秀幸	開発・事業部コンテンツ課課長補佐
	杉田茂樹	開発・事業部コンテンツ課学術情報形成第二係長

*：プロジェクト担当者

無印：実務担当者

学術機関リポジトリ構築ソフトウェア実装実験プロジェクト

NII-IRP ワークショップ 日程

月日	時間	内容	講師・司会等
6月14日(月)	13:00-13:20	開会, 経緯説明	国立情報学研究所開発・事業部コンテンツ課 千葉大学文学部教授 土屋俊氏 千葉大学附属図書館情報サービス課長 尾城孝一氏 外部講師 国立情報学研究所開発・事業部コンテンツ課
	13:20-13:50	講義「米国 SPARC 活動とその理念」	
	13:50-14:20	講義「Institutional Repository」	
		(休憩)	
	14:30-15:00	講義「OAI-PMH」	
	15:00-17:00	担当者会議(各大学の現況, 先行事例報告(千葉大学))	
6月15日(火)	9:00-12:00	講義「DSpace 及び EPrints の導入手順」	外部講師
	13:00-16:00	講義「DSpace 及び EPrints の導入手順」(続き)	外部講師
	16:00-17:00	製品紹介 国内の学術機関リポジトリ構築ソフトウェア	国内システム開発業者(2社予定)
6月16日(水)	13:00 14:00-	(軽井沢駅集合)	
6月17日(木)	10:00-17:00	自由演習 ・ インストール, 基本設定	国立情報学研究所開発・事業部コンテンツ課 及び 技術指導: 鈴木敬二氏(江別市)
6月18日(金)	10:00-17:00	・ NII メタデータ記述要素の適用 ・ 日本語対応	
6月19日(土)	10:00-12:00		
	12:00	(現地解散)	